

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
チャイルドウィッシュみらい びさい		令和8年 2月 3日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準以上のスペースが確保できています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		利用者10人以下は資格者を2人、11人以上は資格者を3人配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		ジョイントマットの色分けをして構造化した環境を整えています。柱や段差はありますが、保護材等を用いて、安全面を配慮しています。遊びの中では、その都度注意喚起を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		サービス提供前の環境整備・提供後の清掃をおこなっています。粗大な動きと微細な動きに応じて、空間を使い分けています。次亜塩素酸を定期的に噴霧して清潔な空間を保っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋はカーテンで区切られており、常に入り可能です。クールダウンや個別面談、着替え、休養に使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員個人は、朝礼・振り返りで、日の目標設定と見直しを行っています。月の振り返りは、児発管との面談で行っています。事業所は、月初に目標設定をおこない、月末に振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		本評価の結果を職員全体で共有して、改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		児童発達管理責任者面談や管理職面談で、職員の意見を把握する機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	実施していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		チャイルドグループの定期的な研修や、一宮市の療育支援事業・自立支援協議会子ども部会の研修に参加しています。また、参加できなかった職員は、研修報告にて共有しています。	
適応	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		3月にチャイルドグループのホームページやワムネットで公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		子どもの面談・保護者様とのモニタリング・指導員による行動観察・学校との情報共有等を総括して、児発管がニーズと課題を明確化しています。そしてケースミーティングを行い計画を作成します。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもの面談・保護者様とのモニタリング・指導員による行動観察・学校との情報共有等を総括して、児発管がニーズと課題を明確化しています。そしてケースミーティングを行い計画を作成します。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケースミーティングと紙面にて、計画が共有され、それに沿った日の支援目標を職員が設定しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		チャイルドグループのアセスメントツール・日々の行動観察をとおして、適応行動の状況を確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえ、具体的な支援目標を設定しています。	令和6年4月の法改定にて、支援の種類が細分化され5領域に整理されました。「移行支援」「地域支援・地域連携」をさらに強化していきます。

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日の振り返りや朝礼をととして、翌日や当日の活動プログラムを、チームで調整し立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		過去の活動記録等を見直しつつ、プログラムが固定化しないように配慮しています。研修等で学んだ新しいプログラムを取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの発達段階による課題に合わせて、個別活動と集団活動の調整を行っています。加えて、少人数でより専門的な支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼で、前日の振り返りの確認と、当日の支援・役割分担・連携の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎終了後、当日の支援の振り返りを行っています。	振り返りは行っているものの、共有が不十分な事もあるため、重ね重ね確認していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個々に支援記録を残し、当日の振り返りにて、検証・改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に個別支援計画のモニタリングを行い、計画作成を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		日々の支援やイベントを通して、「4つの基本活動（自立支援と日常生活の充実・創作活動・地域交流の機会・余暇の提供）」を組み合わせ支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		発達段階に合わせて、音声・指さし等を用いて選択反応が行えるように、選択肢を提示して環境を整えています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者・児童発達支援管理責任者見習いが参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、診察同行・授業参観等を行い、連携する体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		随時、迅速に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		入学後、紙面・口頭にて、情報共有を行い、相互理解を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行先の障害福祉サービス事業所へ訪問したり、相談支援事業所経由で行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		積極的に研修に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の公園に出かけ、地域の子どもと関わる機会を設けています。前年度に比べ、今年度は多く地域の公園に出かけました。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		放課後等デイサービス連絡会・子ども部会・研修に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時・連絡帳・お茶会を通して、発達の段階や課題について、共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		送迎時・連絡帳・お便り・お茶会（保護者交流会）を通して、情報提供を行っています。	「みらいは毎日参加日」です。気軽にお越し頂けるように周知活動を強化していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に、児童発達支援管理責任者から、契約書・口頭にてご説明しています。必要に応じて適宜ご説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約・モニタリング時に、アセスメント・モニタリング・子ども面談を通して、意向の確認をしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約時・モニタリング時に、計画の原案を示し、同意を得てから本案の作成を行っています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時・お茶会・家庭訪問等を行い、提案・助言・支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		1回/月お茶会を開催しています。不定期にビジョントレーニング等の研修会を開催しています。みらいのイベントにごきょうだいをお誘いしました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合は、マニュアルの手順通り、迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		1回/月お便りを発行し、1回/週インスタグラムを発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		事業所内外において、細心の注意を払い取り扱っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて、視覚情報（文字・ボディランゲージ等）を用いながらコミュニケーションを図っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		避難訓練の予定日を掲示し周知に努めています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員会議にて、定期的に各マニュアルの確認を行っています。定期的に避難訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成して、定期的に避難訓練を行っています。テストメールを送っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		薬情や紙面・口頭にて、状況の共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	医師の指示書に基づく対応が必要な子どもの利用がありません。食物アレルギーのある子どもは、一覧表にまとめて把握に努めています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しています。安全管理を実施した上で、支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づく取り組み内容（送迎時対応・外出時対応）について、避難訓練等を実施しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で共有検討をし、職員会議にて再発防止対策を確認しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待委員会をつくっています。チャイルドグループ内の研修・一宮市の研修等に参加しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、対象となる子どもの利用はありません。対象となる子どもの利用がある場合は、手続きを踏んで（組織的決定・事前説明・了承・計画への記載）を周知しています。	

公表

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 チャイルドウィッシュみらい びさい

公表日 令和8年2月3日

利用児童数 24名（うち2組きょうだい）

回収数 22

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2			訪問時しっかり活動できるスペースが確保されていると感じました。走り回れるぐらいのスペースが十分あるのでめいっぱい身体を動かす事が出来る。お部屋が広いので遊べるスペースがしっかりとあり、たくさん走り身体を動かしているのととても良いと思います。	今後もスペースを有効に活用します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1		4	きめ細やかに見て頂いているため適切です。1日職員が何名いるのかわからない。適切であると思います。	利用人数に対して適切な配置をしています。配置数について、契約時にご説明していますが、今後は適宜ご説明を重ねていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	4		1	子ども本人が何をするスペースかわかるように工夫されています。怪我をしないように配慮されています。宿題をやるスペース、集団で体を動かすスペース等しっかり分かれているので、子どもにもわかりやすくなっている。生活空間はわかりやすくなっていると思います。	建物の構造上、バリアフリー化が難しい箇所があります（段差・柱等）。そうした箇所は保護剤でカバーしています。ルールによる意識づけや注意喚起を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	2		1	子どもが居心地よいと感じられる環境になっていると思います。楽しく過ごせる空間になっていると思います。	今後も、日々の環境整備を丁寧に行います。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1			子どもの特性を十分理解して頂き専門的な支援を受けられています。リハビリの事で相談してもすぐ可能な範囲で対応してくれて有難かった。子どもの様子に合わせてしっかり対応した支援を受けていると思います。	今後も、研修・支援検討会等をおして専門性を高めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1			合っていると思う。合っていると思います。	支援プログラムと支援内容がかけ離れないように、常に日・週・月の振り返りを行い点検します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1			子どもの様子をしっかりと見て理解して頂いている上で計画を作成して頂いています。保護者と一緒に話し合ったりデイでの様子等を教えてくれるので、それに沿って計画を作成してくれている。子どもの様子や成長に合わせて、いつも話し合いながら支援や目標などしっかりと作成して頂いています。	今後も、ニーズ・課題を客観的に分析し、ご本人・保護者の方のご意向を反映させた個別支援計画を作成します。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1		2	思います。適切かつ具体的な支援内容を保護者にしっかり説明して頂いた上で設定されています。しっかりとやってくれていると思います。	今後も、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の観点から、具体的な支援内容を設定します。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1			思います。毎回その日の様子を丁寧に聞かせて頂く中で実際に支援を行って頂いていると思います。送迎の際に「今日はこうゆう事が上手く出来なかったで声かけしました」と支援してくれている。	今後も、放課後等デイサービス計画に沿った支援を行います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	3		2	色々な事に取り組みさせて頂いています。長期休みの際や土曜日は色々なプログラムがあるイメージです。イベントが長期休みか土曜日なのでさみしく感じる。子どもの発達に合った活動プログラムで固定化されないように工夫されていると思います。	土曜日・長期休みは、粗大運動・微細運動・机上課題・外出等のイベントを、バランスに配慮しつつ企画しています。平日の遊びは、イベントでおこなった遊びを再び行えるように環境を整えています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	6	1	11	児童クラブ・児童館との交流は不明です。特に必要がないと思う。あまりよく知りません。放課後児童クラブや児童館との交流は見られませんが、木曽川にある事業所の子たちと交流する機会が設けられています。	地域の公園に遊びに行った際に、地域の子どもと活動しています。児童クラブ等の職員と情報共有等を行っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				ありました。契約時に丁寧な説明がありました。しっかりと説明してくれます。	ご契約時にご説明しています。今後もモニタリング等の機会を活用してご説明を重ねます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22				計画を示しながら丁寧に説明を受けました。計画に沿って説明をしてくれます。	ご契約時にご説明しています。今後もモニタリング等の機会を活用してご説明を重ねます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	3	1	保護者会でしっかり行われています。月に1回お茶会がある(保護者の)。お茶会などがあり行われています。お茶会で色々学ばせて頂いています。他にももっと外部の研修会等の情報があれば教えて欲しいです。	外部の研修会等の情報提供について留意します。今後も、お便り・研修会等とおして情報提供の機会等を設けていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	22			毎回連絡帳にて家庭の様子を伝える事が出来ていますし、利用時の様子をお知らせ頂いています。モニタリングの際に細かく話をしてくれる。日々の出来事も送迎の際に話をしてくれる。送りの時に本日の様子や状況など教えて頂ける時間があるので、共通理解できていると思います。	今後も送迎時の申し送りや連絡帳で、当日の健康状態や発達状況について共通理解をさせて頂きます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22			定期的な面談等きめ細やかな支援に安心しています。モニタリングの際にしっかり話をしてくれる。相談にもってくれる。定期的にモニタリングがあり、どのような支援が今必要なか話せるので、とても良いと思います。	定期的な面談等以外でも、いつでもお気軽にお声かけ下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1		相談すると可能な範囲で支援してくれる。子どもが好きな事をたくさんさせて下さり見守って頂けて本当に感謝しています。	今後もお子様やご家族に、誠実に向かい合うように心がけます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	7	1	家族(保護者)への支援はされています。きょうだいへの支援は不明です。月1回保護者向けのお茶会がある。1回も参加した事はないが、参加してみたいかとも思いました。月1でお茶会等あるのでその時には他のお母さん方とお話ができて楽しい時間を持てます。お茶会という、他の保護者の方に相談できたりお話を聞いたりできる機会を頂きありがたいです。きょうだい向けのイベント支援というのがどういったものかわかりませんでした。	引き続き、保護者様同士の交流の場を設けていきます。事業所のイベントにごきょうだい参加できる機会を設けました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21		1	相談に迅速に対応して頂き感謝しております。とても早く対応してくれました。相談などした時はしっかりと聞いて下さり適切に対応して頂けます。相談に適切に対応してもらえるので安心しています。	ご相談や申し入れについて、対応する体制は整えているものの、周知は十分ではありませんでした。今後、さらに周知方法を検討していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1		思います。しっかり配慮されています。直接子どもと話や相談をしたり、その後保護者の意思も聞いてくれて有難いです。	コミュニケーションの方法(音声・視覚)や回数(重ね重ねの確認・直前のお知らせ等)を配慮しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	2	1	丁寧に発信して頂いております。連絡帳やお便りで発信されている。発信されています。いつも素敵な「みらいだより」を作成いただきありがとうございます。	おたより・ホームページ・SNSで事業所の活動内容を発信します。本評価の結果をホームページに記載すると共に、紙面を配布しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			思います。	さらに、スタッフ間で声を掛け合いつつ、個人情報に対する注意喚起を互いに行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20		2	訓練が行われた日に、行いました(実施しました)とのメールが届きます。先生が色々マニュアルで勉強することはいい。	訓練・各マニュアル(事故防止・災害対応・防犯・感染症等)は、契約時にご説明しています。訓練後はお便り等でお知らせしています。各マニュアルの周知説明の方法・機会を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22			行われています。訓練している。定期的な訓練その実施報告を頂いております。避難訓練の後メールのお知らせがくる。その確認もある。	避難訓練を年5回行っています(防犯・水害①・地震・火災・水害②)。ご利用曜日によっては、どの訓練にも参加されていないお子様もあるかもしれません。実施日を検討します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	3	思います。	ご契約時に、危険な箇所・場面・危険を回避する配慮等をご説明しています。安全計画についての周知を今後検討します。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21		1	小さなケガや身体の異変等も丁寧に連絡して頂き有難いです。自宅で様子がみれます。今まで事故等はないですが、ちょっとしたケガ等でも送迎の際にしっかりと伝えてくれます。ケガ等発生した時は、すぐお電話を下さり対応を考えて下さるので、しっかりしていると思います。	今後も迅速かつ適切な対応を心がけます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1		信頼出来る先生方の元で安心して通うことが出来ています。安心して通えていると思います。利用が長く慣れた場所・慣れた環境の中で安心感を持っていつも楽しく通所しています。顔なじみの職員や友達がいるので安心して通っています。	今後も安心感をもたれる支援を提供できるように研修等を重ねます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	2		毎回とても楽しみにしています。とっても楽しみにしています。やりたい遊びがたくさんありいつもとても楽しみにしています。これからも続けたい。身体を動かす活動が多いので発散できて楽しんでいます。	今後も楽しみに来所されるような支援を提供できるように研修等を重ねます。

	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1		きめ細やかな支援に大変満足しています。今後ともよろしくお願いいたします。いつもしっかり支援して頂きありがとうございます。大満足です。子どもの様子や成長に合わせ、必要な支援を考えて下さるのでとても感謝しております。ありがとうございます！本人に合わせて支援してもらっているのでも満足しています。	ありがとうございます。今後も支援に満足して頂けるように、支援の振り返り・改善をおこないます。
--	----	------------------	----	---	--	---	--